



たらぎ議会だより

No.131

令和6年7月25日

熊本県多良木町議会発行

「大きく育て！」願いを込めて！

(町内3校合同田植え：5年生)

6月定例会議

- P2 議会からの提言
- P5 どうする？今後の施設は
- P6～8 一般質問

熱中症特別警戒情報が発表された場合には 研修センター内に※クーリングシェルターを開設!!

※クーリングシェルターとは、R6年4月から改正気候変動適応法により新設された熱中症特別警戒情報が発表された場合、開放を義務付けられる施設

議会からの提言 クーリングシェルターとして多目的研修センター(ロビー・会議室)を指定してあるが、町民の利便性を考えると各地区公民館(冷暖房完備)の開放を今後は区長に要請すべきでは?!

専決処分の主なもの

(千円切捨て)

- 多良木町税条例の一部を改正する条例
R6年度税制改正大綱に基づき地方税法等の改正が行われたことに伴い、多良木町税条例の一部を改正する条例の専決処分を行ったもの
- 多良木町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
R6年度税制改正大綱に基づき地方税法等の改正が行われたことに伴い、多良木町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分を行ったもの

	基礎課税額	後期高齢者 支援金等課税額	介護納付金課税額 (40歳～64歳)	合計
現行	65万円	22万円	17万円	104万円
改正後	〃	24万円	〃	106万円
改正幅		+2万円		+2万円

- R5年度一般会計補正予算
1億6,304万円追加補正し、総額74億9,446万円
年度末における町債の借入額、地方交付税等の一般財源、国・県支出金等の特定財源及び基金積立金等の増減に伴う歳入歳出予算の補正
- R5年度国民健康保険特別会計(事業勘定)
7,370万円減額補正し、総額12億1,125万円
- R5年度後期高齢者医療特別会計
681万円減額補正し、総額1億7,557万円

繰越明許費の報告

(千円切捨て)

- R5年度一般会計繰越明許費繰越計算書
事業費合計(対象事業16件)7億1,877万円 → 翌年度繰越額4億408万円
- R5年度一般会計事故繰越し繰越計算書
 - ・農業用施設災害復旧事業 → 翌年度繰越額1,817万円
(繰越の理由: 国土交通省との協議に不測の日数を要し、またR5年の豪雨災害による拡大崩壊等により県工事がR6年3月末に完了を見込んでいることが判明し、町工事の年度内完了が困難となったため)
 - ・林業用施設災害復旧事業 → 翌年度繰越額5,437万円
(繰越の理由: 着工前測量を行ったところ、現場状況が計画と異なっており、計画の変更により不測の日数を要したこと等により、年度内完了が困難となったため)

1億4,467万円追加補正し、総額78億2,767万円

補正予算の主なもの

(千円切捨て)

- 低所得者支援及び定額減税補足給付金 → 7,640万円
給付見込 1,910人 × 4万円
- 低所得者緊急生活支援給付金 → 2,550万円
対象見込 240世帯 × 10万円 + 子ども加算対象見込 30人 × 5万円



多良木学園の今後は?

- 学園費指定管理委託料 → 765万円

議会からの提言

多良木学園の今後は議会活性化特別委員会で論議しているところではあるが、指定管理最終年度として捉え、綿密に協議を進めて早期に結論を見出すべきである。

- 予防接種委託料(新型コロナ含む) → 885万円
- 未来を担う農業者支援補助 → 115万円
- 未来へつなぐ地域営農組織経営力強化支援事業(新規事業) → 100万円
- 新規就農者育成総合対策事業交付金 → 225万円
- 商工業振興費(イルミネーション備品) → 100万円
- 非常備消防費LINEアプリ開発委託料 → 282万円



アプリイメージ

特別会計補正

(千円切捨て)

会計名	補正額	予算総額
久米財産区	10万円	1,533万円
介護保険	103万円	15億6,664万円

R6年度6月定例会議は11日から17日までとし、報告8件・条例等12件・補正予算3件・人事案件3件・選挙1件を審議し可決した。一般質問には3人の議員が執行部の考えを質した。

どうする？ 今後の施設の在り方は？

議会活性化特別委員会

R6年度初めての議会活性化特別委員会は本町における「公共施設」に関する協議をした。町の公共施設は老朽化が進み、更新・建替え改修費の増大が見込まれる。少子高齢化による人口構造の変化や町民ニーズの多様化などによりその変化の対応も課題となってくると考えられる。

そこで町の財政状況を踏まえ、長期的な視点を持ち、いわゆる財政負担が大きい施設を中心に現況と将来に向けてどの様にすべきかの論議が必要となってくる。

町には「公共施設等総合管理計画」があり、それをもとに個別施設計画が策定されており、今回は「堆肥センター」「多良木学園」「えびすの湯」の3施設についてそれぞれの担当課から、「現況の説明」を受けた。

本委員会はその施設の「将来的な展望」・「方向性」を探るべく問題点を抽出し、議論を深めていくこととした。

また7月には「あさぎり町新庁舎の議会中継システム視察」とともに先日より議会や町民に対し説明が行われた「えびすの湯」の方向性の基盤の一つとして参考にした「芦北町総合コミュニティセンター子どもの広場」の視察を行う予定としている。



老朽化が進む堆肥センター

文責 林田

令和5年度分 町議会議員の税等納付状況

多良木町議会議員政治倫理条例により、町議会議員の税等の納付状況を公表します。

令和6年3月末現在

職名	氏名	町民税	固定資産税	軽自動車税	国民健康保険税	後期高齢者医療保険料	介護保険料	水道料金	下水道使用料	下水道事業受益者分担金
議長	宇佐 信行	○	○	○	○	—	○	○	○	○
副議長	坂口 幸法	○	○	○	○	—	—	○	○	—
議員 (議席番号順)	林田 俊策	○	—	○	○	—	○	○	—	○
	魚住 憲一	○	○	○	○	—	○	○	○	○
	源嶋たまみ	○	—	—	—	—	○	—	—	—
	久保田武治	○	○	○	○	—	○	○	—	—
	豊永 好人	○	○	○	○	—	○	○	○	○
	猪原 清	○	○	○	○	—	○	—	—	—
	落合 健治	○	○	—	—	—	—	○	○	○
	前田 文	○	—	—	—	—	—	—	—	—

【表示例】「○」… 当該年度に納付すべき額がすべて納付されている場合
「×」… 当該年度に納付すべき額に未納がある場合
「—」… 本人に納付義務がない場合

12件の条例等審議・採決!!

条例等改正

- 多良木町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部を改正する条例
自己負担額の「2,040円」を「2,000円」に「1,020円」を「1,000円」に改める
- 令和6年度庁舎防災用非常電源設備整備工事の契約締結
契約の総額：1億7,050万円(消費税込) 契約の相手方：飯塚電機工業株式会社人吉営業所

●人権擁護委員の推薦に同意

米多やよい さん(多良木)
中岡 末弘 さん(久米)

人事案件

●固定資産評価員の選任

椎葉 直宏 さん(現税務課長)

【人権擁護委員】とは

人権擁護委員法に基づいて、人権相談を受けたり、人権の考えを広めたりする活動をしている民間の方々です。法務大臣から委嘱され、全国の各市町村に配置されています。



●多良木町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について

【選挙管理委員】

再任 満谷 恭享 さん(委員長)
再任 筑紫 茂 さん
再任 林田 忠 さん
新任 久保 日出信 さん

【補充員】

再任 緒方 征枝 さん
新任 村山 昇 さん
新任 今井 一久 さん
新任 大石 浩文 さん

新任の委員及び補充員の皆さんを紹介します



久保 日出信 さん
(黒肥地)



村山 昇 さん
(多良木)



今井 一久 さん
(多良木)



大石 浩文 さん
(久米)

- 選挙管理委員 前田榮功さん(前委員長)
 - 補充員 恒松一廣さん・岩崎止夫さん・山崎隆一さん
- 長い間、有難うございました。

猪原 清 議員



今年2月、宮崎県は新幹線八代～宮崎ルートの可能性を探る調査の実施を表明したが、これを受けて町としても地域自治体と連携して地域振興策を国県へ要望すべきでは

町長

宮崎県が調査費を計上したことでは本気度がうかがえる。この話が県でも具体的に出てきた時には流域12市町村地域振興のために連携しなければならぬ。

質問

Q 新幹線ルートで自治体連携を

A 流域市町村で連携推進

この話の大きなメリットは、予測される南海トラフ巨大地震発生時の宮崎県や大分県からの避難者輸送（人流）と物流である。もう一つは県北への通勤圏内に人吉球磨地域が入ってくるということである。今後は町村合併などで消滅する自治体も予測されるが、この地域の活性化のために努力すべきでは

町長

新幹線実現のための期成会の話が進み始めた時には（期成会に）国土交通省鉄道局を動かしてもらい鉄道局主導で

一気に方向性が固まってくるかと思う。起死回生のチャンスと捉えて注目しながら経過を見守っていききたい。

新幹線3ルート案イメージ図



宮崎日日新聞電子版より

Q 再生不能な空き家対策は

A 所有者に丁寧に対応していく

質問

周囲の環境に悪影響を与え、治安・防災上から整理撤去が必要な空き家の状況は

椎葉危機管理防災課長

H27年度に実施した区長及び行政区担当職員の調査によ

ると概算的な数値であるが272件である。

質問

再度詳細な調査を実施して倒壊の危険性がある空き家を町の財政で処理・整理する対策計画は

◆その他の質問◆

①女性管理職登用は



荒れ果てた廃屋

椎葉危機管理防災課長

R5年度に「多良木町空家等対策計画」を策定した。この計画をもとに今年度において業務委託による詳細な実態調査を実施し、空家対策を総合的・計画的に進めていく。

町長

行政代執行は高額になるので、その都度担当課が丁寧に丁寧に対応し、基本的には、当該空き家の所有者自身で解体等していただく方向にもっていったらいい。

Q タクシー券など支援は

A 財政に余裕がないため難しい

質問

独自のアンケート調査をしてみると、物価高騰で生活困窮者が増えているのが伺える。「タクシー券の支援」「水道料を安くしてほしい」といった声があるがどう受け止めるのか

町長

物価高騰で大変なのは理解しているが、町も災害復旧や老朽化管の布設替など財政的に余裕がないため、そのような支援はなかなか難しい。



全戸配布してあるガイドブック

質問

高齢者の一人暮らしなどタクシーを利用せざるをえない方をタクシー券などで支援できないか

浅川企画観光課長

本町の予約制乗合タクシーを利用していたきたい。利用料金は、槻木線1回300円、その他の路線については1回100円となっている。また、70歳以上の方や疾病等を理由とした免許返納者には支援事業として「乗合タクシーの無料回数券24枚」を交付している。

久保田 武治 議員



Q 「消滅自治体」への位置づけは

A 不本意に思っている

人口減少の一因として、高齢化・若者の流出・結婚・出産などが指摘されている。改善策として、この一年間の企業誘致・移住定住・空き家の活用などの実績と人口減少を緩和する施策は

質問

人口戦略会議の「消滅可能性自治体」に本町も位置付けされた。他の自治体では違和感・不快感・横暴などの声をあげている首長もいる。町長はどう受け止めるのか

町長

自治体の足を引っ張るような発言に対し、不本意に思っている。

質問

◆その他の質問◆
①農業・農家の支援について
②学校教員の「自腹」問題について
③川辺川ダム問題について



話題の書籍

日田副町長

企業誘致はこの1年で新規実績は無いが、企業との連携協定を4月に締結し、事業誘致の足がかりとなった。また、製造業等の誘致に向け用地取得費の補助など制度を拡充したほか、町内企業の工場増設などに向けフォロアップに努めた。中学校跡地活用は庁内で検討中だが、県の企業誘致活動での紹介もお願いしている。

町長

人口減少の緩和努力はしているが効果がでないなので、責任は感じている。

豊永 好人 議員



質問

中山間地における新たな振興作物の開発の方向性は

魚住産業振興課長

振興作物は、販路や代金決済が信用できる確立をされたものでないと産地化ができないので、契約栽培を前提とした作物振興となり、経営所得安定の中で、「産地交付金対策作物」として振興していく。また、中山間地等についてはJA・近隣の3町村とも検討したい。

Q 振興作物の方向性は

A 町に合った作物選定を



振興作物であるミシマサイコ

町長

新しい作物をどういう形で定着をさせるか、これから重要な問題だと思っている。農

業再生協議会の中でも議論されており、その中でも町に合った収益を上げられる作物を選び、定着させたい。

Q 機械導入補助は

A 予算化していく

質問

町独自の機械導入資金の増額の方向性は

魚住産業振興課長

機械導入事業はR7年度まで実施する予定である。また、次期補助制度でも今期補助事業を活用された方が利用できるよう検討をしていく。

町長

機械導入補助は、近隣町村の状況を踏まえながら予算化していく。

質問

「農業支援センター」開設については

魚住産業振興課長

現在は、「農業支援センター」を立ち上げて欲しいという要望は来っていない。開設する場合は利用する農家がどのような人材が欲しいか、また、どのように活用するかを明確にしておかなければならないと思うので、どのような手法・手段があるのか情報を収集し、農家から要望があれば一緒に作り上げていくことができるよう準備を進めていければと考えている。



大型化する農業機械

町長

農業支援センター開設については、産業振興課で、既存の組織等バランスを考えて本町に馴染むか検討したい。

◆その他の質問◆

- ①町直営での今後の事業のあり方について
- ②町長の公約について
- ③町長選挙について

「新しい循環のかたちとコーヒー豆の可能性」を学んで

総務産業常任委員会 政務活動報告

政務活動として、福岡県柳川市近辺の2か所の視察を行った。

最初は、焼却炉を使わない生ごみ処理を中心とした大木町の「循環センターくるん」の視察だった。メタン菌を使った処理と聞くとやはり「発酵・匂い・汚い」などを個人的なイメージとしてもっていたのだが、施設は小さく匂いも殆どなく、「生ごみから出たガスは発電」・「菌で分解された物は液体肥料」に変え販売をされていて全く無駄がなく驚いた。大木町の人口が約13,000人であり、もし本町に同じ施設を建てるならば金額・面積ともに半分ですむと考えると非常に魅力的に感じた。これから先、ごみの問題は益々大きくなっていくと予想されるので非常に参考となった。



循環の仕組みの説明

次にコーヒー豆の栽培を手掛ける「杏里ファーム」の視察を行った。社長から時折ユーモアを交えながらも真剣に、コーヒー豆の栽培の歴史や販売における分岐点、チャンスの掴み方などを説明していただき、たらぎ財団の販売方法にも繋げられるような内容だった。

今回、成功例として2か所視察を行ったのだが、まだまだこれから先が大事だと試行錯誤されているのが見えた。まさに、それこそが一番学ぶべき部分ではないかと感じた視察となった。

文責 落合



コーヒー苗の説明

ふれあい交流センター「えびすの湯」今後の方向性は

厚生建設文教常任委員会審査報告

えびすの湯の今後について検討をかさねてきた「まちづくり推進委員会」から町執行部に対し、下記のとおり、答申が示された。

答申の要旨は

- 1 現状のまま存続・運営させる選択肢はない。ただし、住民ニーズに応えるために入浴施設を残す可能性を探る。
- 2 屋内遊戯施設やトレーニング室などとの複合施設化によるコスト縮小、利便性向上、福祉増大につなげる。
- 3 第三セクターや民間委託への管理形態の移行。
- 4 あらゆるコストの試算、人口推移、周辺環境を考慮し検討する。

庁舎内プロジェクトチームで各案を点数化し検討、一つの方向性として「こども屋内遊戯施設」と入浴施設との複合化が提案された。

議員からは、「この一案以外にもトレーニング室や図書室などとの複合化は検討されなかったのか?」、「この案で平日昼間の利用が見込まれるか?」、「根本的な赤字解消につながるかは疑問?」、「2階部分の活用は?」等の意見が出された。

この方向性について住民説明会も行われたが、本委員会としては一つの案に固執することなく幅広く住民の意見を取り入れ、また現実的な赤字幅の縮小策に基づいた案を今後の方向性としてまだまだ十分に練っていく必要があると考える。

文責 猪原



方向性が示されたえびすの湯



“えびすの湯”はどぎゃんなってね？



多良子

なんか「えびすの湯の説明会」のあったとげなね？

あんたは行かんじゃったとな？なんさま、こんままじゃわからんてなったったい。町民アンケートじゃ『残してくれ』っていいやった人が多かったげなで役場内はもちろんばってん「まちづくり推進委員会」・「議会」やらで色々協議してきやって、やっと方向性の説明のあったとばい



球磨雄



多良子

赤字のふとかとの続いとったもんね。今から人間もすくの～なっでね。こいからはどぎゃん方向でいきやっとな？

人件費と電気代が一番お金のかかっとなで「営業時間の短縮」や「歩行浴・露天風呂の廃止」ばして、そいば減らそ～って考えといやるごたっばい



球磨雄



多良子

あら～そら「チョット不便」になっかもしれないね～

そぎゃんかもしれないばってん、町民も協力ばせんばんよな。そいから館内ば一部改修して「こどもの遊び場」ば作るごたる予定もあつとげな



球磨雄



多良子

「こどもの遊び場」な！そら～子育て世代は楽しみたい

前は入館料ばちい～と上げて、今度が第2弾たい。多良子ちゃんもたまにあ～えびすの湯に入りいきない



球磨雄

作 林田 ※P5・P9参照

◎坂口 幸法 豊永 好人
○前田 文 猪原 清
林田 俊策 落合 健治

広報特別委員会

窓を叩く雨と雷鳴が目が覚める。そして雨がやみ、明るくなった空に蝉の声が響く。夏がそこに来ていいる。毎年のように梅雨末期に見られる大規模な豪雨災害は幸いなことに今年は起きていないが、私たちはいつどこで起きるか予測できない災害への備えを平時から忘れてはいけない。

備えといえは、先に発生した台湾での大地震で、ある意味衝撃を受けるニュースを目にした。災害時の避難行動と避難所対応の早さである。台湾は地政学的に常に有事に備えなければならぬという辛い環境に置かれているからではあるが、平和な日本でも手本にすべき災害対応である。人命を守るということでは有事も災害も同じである。ハード（避難所、建物構造等）もソフト（国県、自治体、地域住民、家族）も従来の災害対応意識を一段と高めなければならぬ。それを隣人である台湾が教えてくれたと私は思う。人に頼るのは必要だと思いが、自分を守るのはまず自分自身だということである。

文責 猪原

編集後記

UD
FONT

UD(ユニバーサルデザイン)フォントとは、すべての人に対して読み間違いを防いだり、読みやすくするために工夫してデザインされたフォントです。